

福井県長期ビジョンの実現に向けた 県民アンケート調査結果(概要)



令和7年11月

アンケートの概要

目 的

福井県長期ビジョンや県の行う施策等について、広く県民の意見を継続的に把握し、ビジョンの実現や政策の立案等に反映させる。

対 象

県内に居住する満18歳以上の 3,208人 ※住民基本台帳から市町の人口割で無作為抽出

期 間

令和7年8月27日～9月22日

方 法

郵送による調査票配布回収およびWEBによる回答回収

主な設問

- ▶ 長期ビジョン推進
- ▶ 暮らしの満足度
- ▶ ウェルビーイング
- ▶ 新幹線開業効果
- ▶ 子育て支援
- ▶ DX

有効回答数

1,575人（有効回答率 49.1%）

（回答内訳）

単位：人

	18～19 歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上	未記入・ 無効等	計
男性	16	62	76	107	103	104	196	8	672
女性	34	70	85	116	157	125	276	6	869
そのほか	0	0	1	1	1	0	0	0	3
未記入・ 無効等	0	0	0	1	0	2	1	27	31
回答数	50	132	162	225	261	231	473	41	1,575

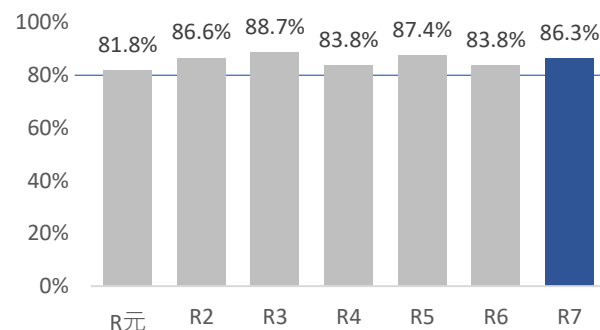
※次頁以降、各設問の「未記入・無効等」を除いてグラフを作成。

暮らしの満足度

○暮らしの満足度について、「暮らしてきてよかった」、「どちらかといえば暮らしてきてよかった」の割合は、合わせて86.3%と、8割以上を維持

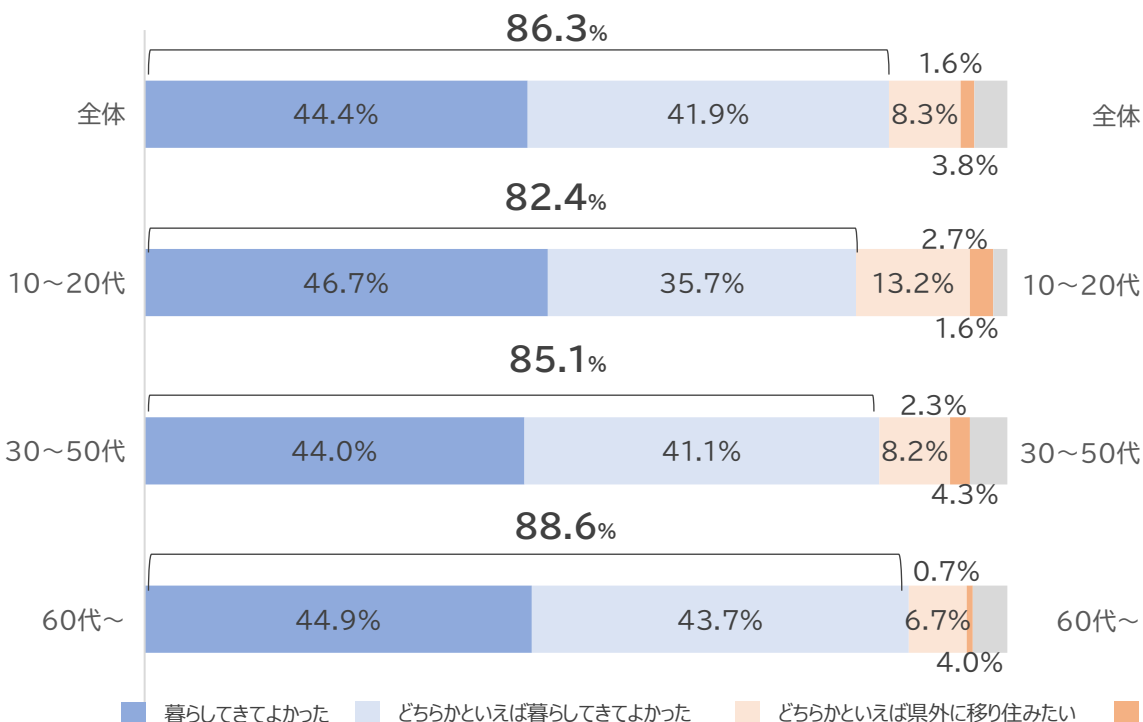
○全ての年代で前年より満足度が上昇しており、開業効果等による幸せ実感の高まりを背景に、概ね本県の暮らしに満足している

過年度との比較（「暮らしてきてよかった」、「どちらかといえば暮らしてきてよかった」と回答した割合）

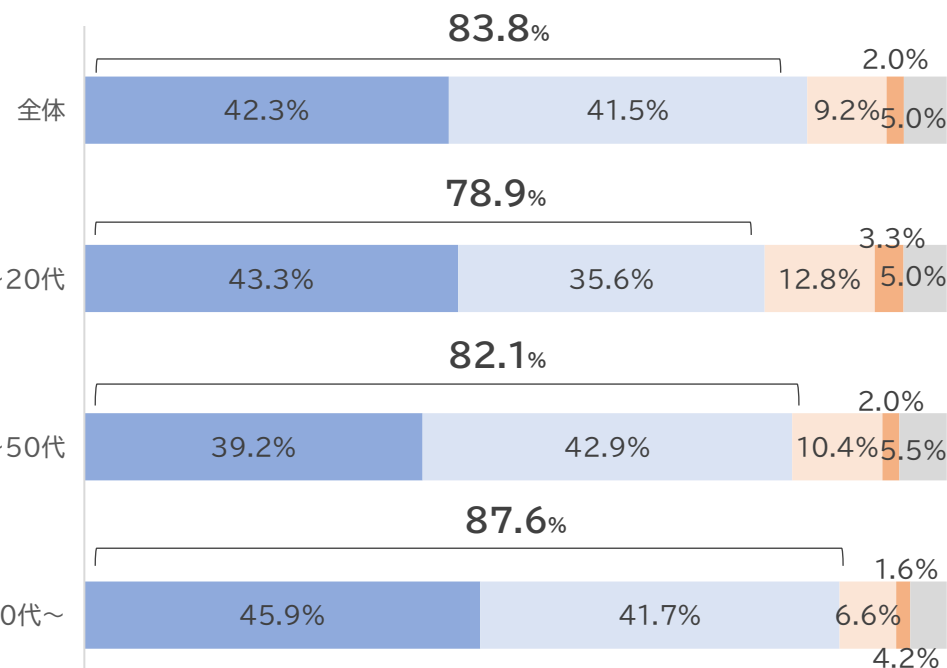


問 あなたは自分が福井県に暮らしてきて良かったと思っていますか。

令和7年度



令和6年度



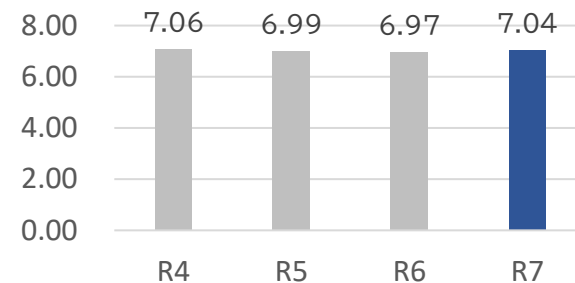
暮らしがよかった どちらかといえば暮らしがよかった どちらかといえば県外に移り住みたい 県外に移り住みたい わからない

総合的幸せ実感

○平均点数 7.04 点で引き続き高い状況

○性別でみると、60代を除き男性より女性のほうが高い数値

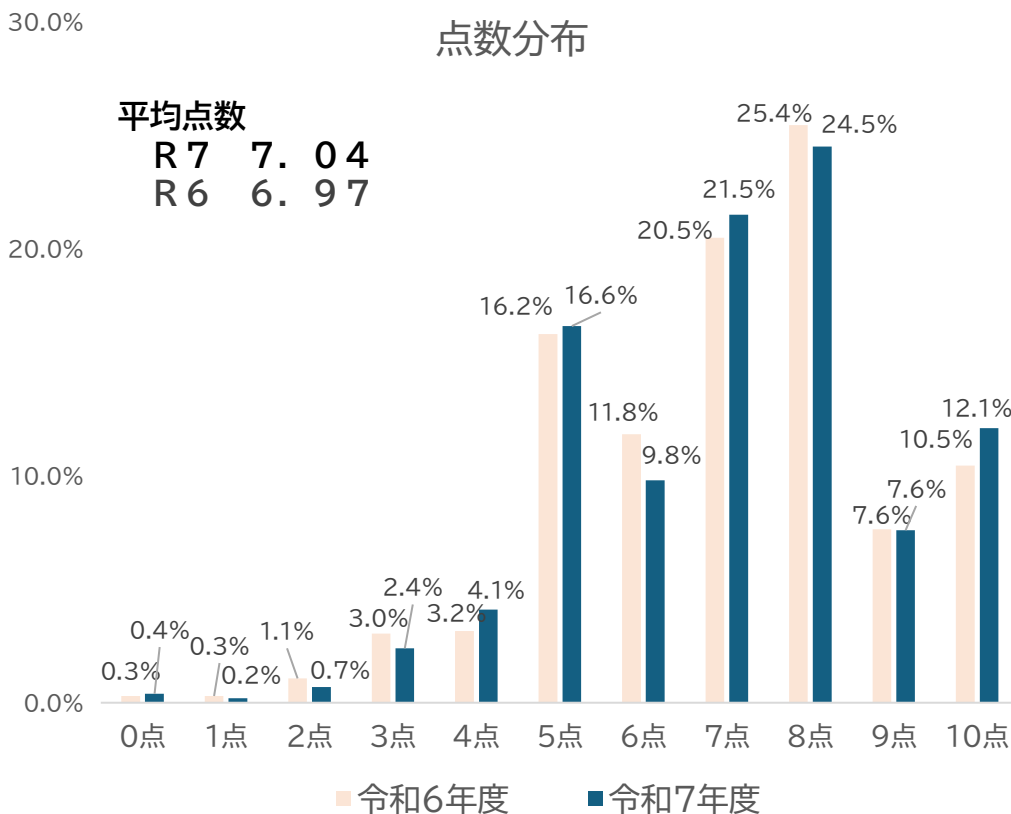
過年度比較(全体の平均点)



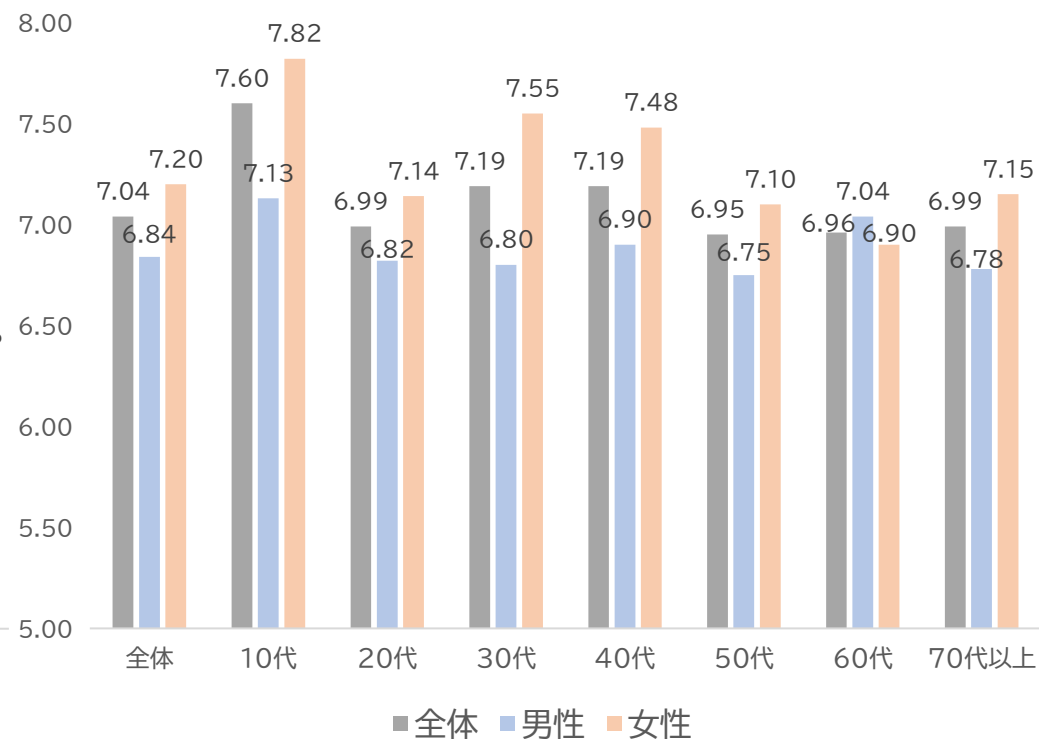
問 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

点数分布

平均点数
R7 7.04
R6 6.97



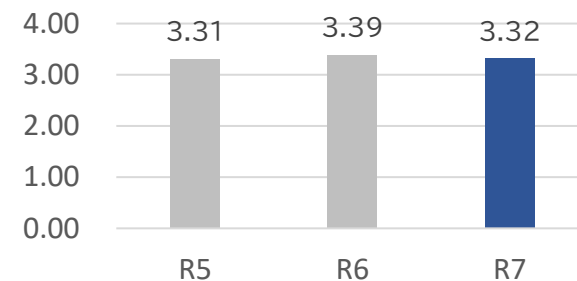
平均点数



地域への愛着や誇り

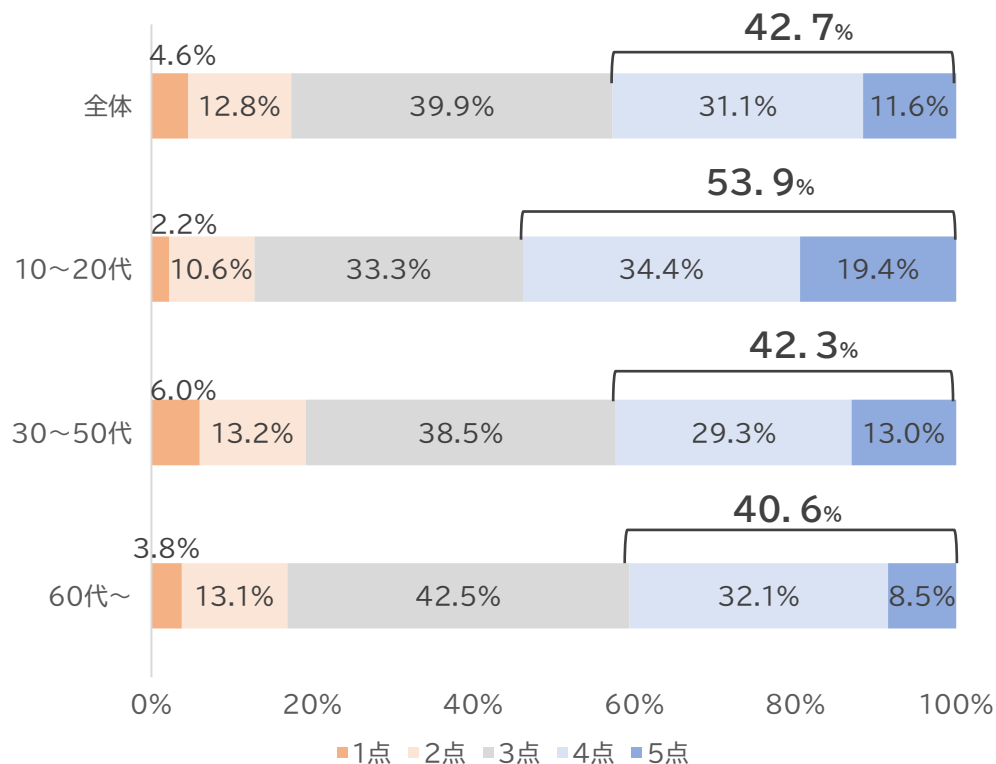
- 平均点数3.32点で、昨年度から0.07点減少
- 年代別で見ると、4点、5点の割合は10～20代が53.9%で最も高い

過年度比較(全体の平均点)

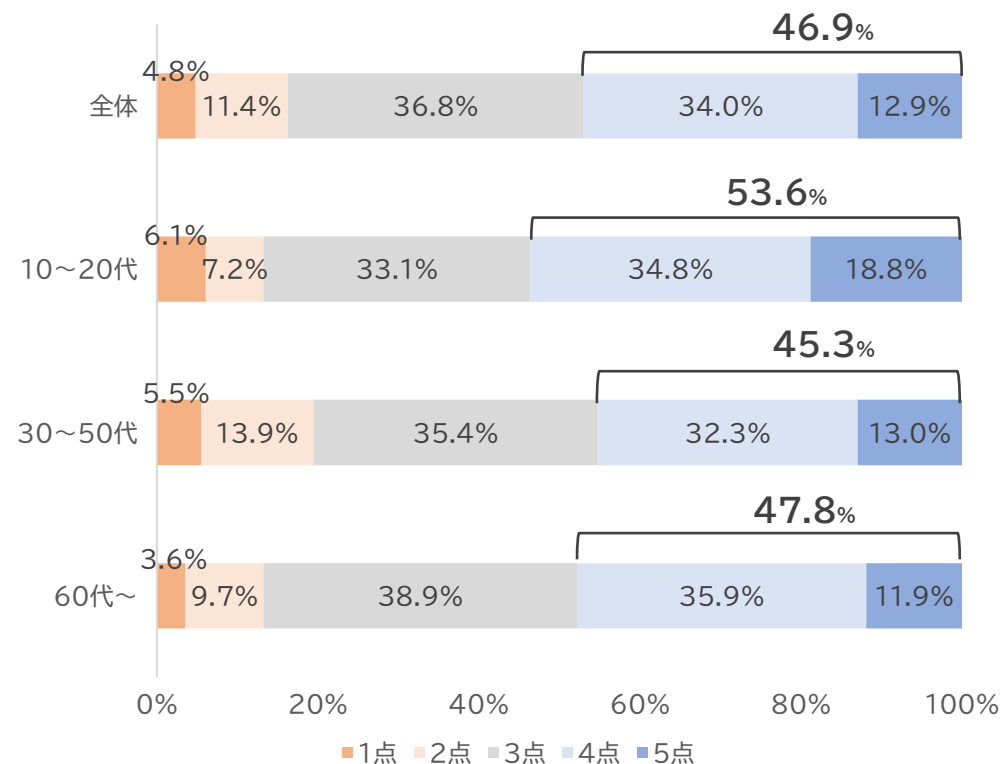


問 あなたの住んでいる地域に愛着や誇りを感じますか。「全くそう思わない」を1点、「強くそう思う」を5点とすると、何点くらいになるとと思いますか。

令和7年度



令和6年度



「ふく育県」の評価

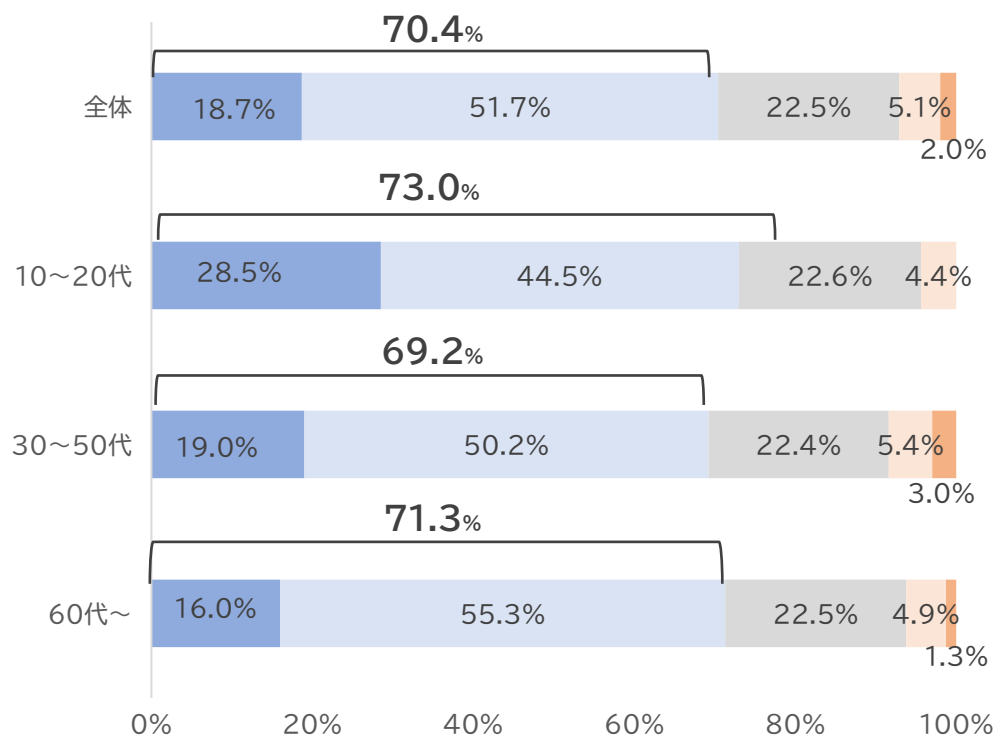
○「ふく育県」の評価について、「評価できる」「どちらかといえば評価できる」の割合は、合わせて70.4%

○主な子育て世代である30～50代では合わせて69.2%

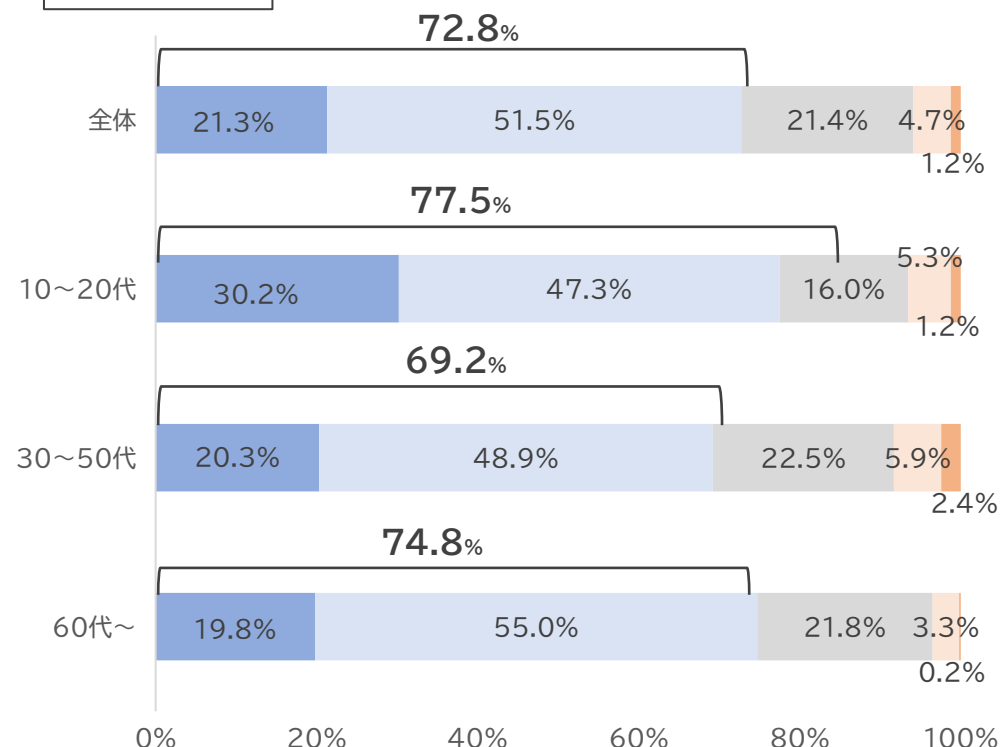
問 あなたから見て、福井県が実施する「ふく育県」としての子育て施策を評価できますか。

※令和5年度に設問作成
令和6年度は設問なし

令和7年度



令和5年度



■ 評価できる ■ どちらかといえば評価できる ■ どちらでもない ■ どちらかといえば評価できない ■ 評価できない